**【第30回技術論文】**本文は図表を含み**3,200字以上（必須）～4,000字　４ページ以内**

（参考文献等の記載は文字数に含まない）

【書式】**日本語**（カタカナも全角）・**英数字**（半角・1文字も）ともに以下の規格で作成すること

【1】「本文」➡MS明朝10.5ポイント／2段組み　22字×39行（1ページ目は28行目安）

【2】「図表のキャプション」➡MSゴシック10.5ポイント　ハイフン半角**（本文中の図-1等も同様に）**

【3】「要旨」➡100～200字程度（2～5行）を入力（5ページ目）

【4】「文字数カウント」➡必ず実施し、規定文字数を厳守してください（「1.はじめに」からの字数）

【5】「図表の分量」➡各ページの半分以下　　　　　　　　　　※応募原稿ではこの枠は削除願います

**※応募資格：主執筆者・共同執筆者ともに**

**土木施工管理技士1級または2級（技士補を含む）もしくは技術士（建設部門）**

（↑上記※応募資格の赤字文言は応募時に削除願います）

題　　　　名：　　　　　　簡潔につける（長くても全角30字程度）←カウントしてください

所属技士会名：　　　　　　●●●土木施工管理技士会（技士会会員でない場合は”無所属”と入力）

会社名：　　　　　　 株式会社等は省略せずに入力してください

主執筆者　　 氏名：　　　　　　　（役職：空欄でも可）〔資格者証名称と交付番号or合格証明書番号〕

共同執筆者１　氏名：　　　　　　　（　　　〃　　　　）〔　　　　　　　　 〃　　　　　　　　　　〕

共同執筆者２　氏名：　　　　　　　（　　　〃　　　　）〔　　　　　　　　 〃　　　　　　　　　　〕

１．はじめに（適用工種・工事概要を含む）

**※工事概要から書き始めないでください**

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

工事概要（できるだけ省略し、本文の量を多く）

(1) 工 事 名：□□□□□

(2) 発 注 者：□□□□□

(3) 工事場所：□□□□□

(4) 工　　期：□□□□□

２．現場における課題・問題点

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

３．対応策・工夫・改善点と適用結果

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

４．おわりに（他の現場への適用条件・今後の留意点等）

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

※図（写真）、データなどを他から引用した場合は、その出典を明記すること

※図（写真）・表は、印刷時（白黒）に鮮明に表示されるか確認すること

**※図（写真）・表（MSゴシック10.5ポイント）**

**番号とキャプション**をつける

図or写真

**図-1　タイトル**

図と写真は、**図の下**

写真も図とみなします➡ ✕ 写真-1　〇 図-1

**表-1　タイトル**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

表は、**表の上**

表が**１つ**の場合、**-表-**と表示する

**【要旨】**100～200文字程度（2～5行）

**例を参考に、どのような課題に対してどのような工夫をして解決したか、を簡潔にお書きください。**

例1 　長大かつ大断面トンネル掘削工期の短縮のために、ドリルジャンボの削孔機のフィード長を延長し、掘進発破からロックボルト工へ移る際のロッド交換を不要にして、ロッド交換によるサイクルロスを排除したことなどにより大幅に工期を短縮した。

例2 　湾岸道路高架橋の下部工橋脚をニューマチックケーソンで施工するにあたり、仮設桟橋の構築に鋼管杭工法と鋼殻吊降し工法の当初設計から袋詰め根固め工法に変更したことで経済性・品質・安全性・施工性をアップさせ、計画時の問題を解決した。

**【要旨】こちらから入力し、上記例は削除してください**